

序

この号は、当研究所が本社々屋の中から越中島の新社屋に引越してから最初に出す所報である。独立すると不便も多いが、自由度の増大と志気の高揚に資すことも大きい。私共としては新しく出発するという気持である。

近年、各種メーカーの資材開発から住宅開発などに向う動きが活発であるが、一方、建設業界でも、脱請負と称して、地域開発、エネルギー開発、環境汚染対策、システムエンジニアリングなど、在来の土建業にない目新しい題目が次々に出てきている。そして何かそういう旗印を上げていないと、会社の面目にかかわるような風潮である。

こうして、それぞれの業種間の境界が、双方からの滲み出しによって次第に不明瞭になりつつあり、それとともに、私共の研究所の中でも、土木建築以外の専門家がどんどん増えてきている。しかも一方では、労働力不足で昔ながらの仕事も足元に火のついたような状況になっている。

これは何も私共の周辺だけのことではないが、どこを向いても、何となく気忙しい世の中になってきている。しかしその中であって私達は、力がなければ何もできないという考えに立って、多忙な毎日に追われながらも、基礎となるどっしりした力を養って行きたいと願っている。

今後とも、各方面の方々のご支援を希求して止まない。

1973年 4月

清水建設株式会社研究所 所長

工学博士 鳥田 専 右